

向陽中学校 学校運営協議会

第40号

下より



SEP. 2024
New
Message!

ご挨拶

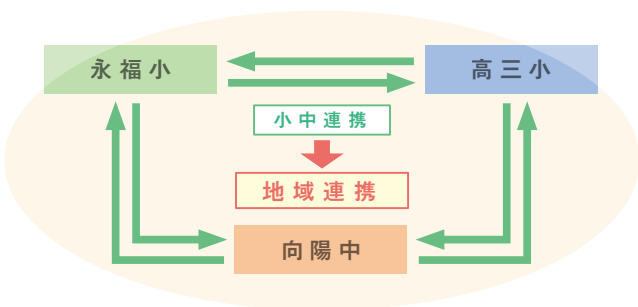
私たちは、大きな変化の波に直面しています。
私が過ごした中学校、娘たちが過ごした時代の中学校、そして現在の中学校。それぞれの時代と環境によって勉強の方法、先生の働き方、部活動のあり方、PTAの存在意義などが大きく変わっています。また、コロナ禍の前と後では生活様式についても様々な変化がありました。世の中に変わらないものは無い、ということを頭では理解していても、実際の現場での変化に戸惑うこともしばしばです。
私達は、その変化に対応しながら、次世代を担う子ども達を育てていかなければなりません。良いも

のは残し、時代に合わないものは変えていく。昔のやり方が通用しない局面に対し、悩みながら、話し合いながら、知恵を出し合いながら、最善と思われる事をやってみる勇気を必要としています。
今年度、私たちの学校運営協議会も3名の新しい委員を迎えました。このチームが新しい変化に対応し、活発な議論と共に、より高いレベルの学校・地域・家庭の協働につながることを期待しています。その結果、向陽中の生徒達が充実した中学生生活を送り、巣立ち、大人になって将来住むことになるとこかで、再び良い地域を作って欲しいと願います。
昨年に引き続き会長職を継続させていただきますが、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



杉並区立向陽中学校
学校運営協議会 会長
十亀 章子

高井戸三小、永福小との小中連携から 下高永福地区の地域連携



向陽中の生徒数は、少子化だけでなく、近隣の私立中学校への進学により、30年前に比べると生徒数は半減しています。生徒数の減少に比例して教員数も少なくなり、これまでと同じように中学校の教員が校務や地域行事を行い、子どもに主体的な活動をさせていくことが難しくなっています。また、保護者の方々は忙しく、学校公開などの参加数も少なく、保護者同士のつながりも希薄になりつつあります。

このような課題がある中でも、特色ある地域の文化を指導できる人材を向陽中に取り入れながら、これまで教育活動を行ってきました。特に、下高地区のダンス、永福地区の合唱について指導・支援していただき、部活動（ダンス部）や向陽祭（合唱祭）、地域行事に向けて指導していただき盛り上げてくれています。この下高、永福の互いの地区の文化を共有しながら、教育活動と地域活動を推進しています。

また、教員の連携を進めるために高井戸三小、永福小、向陽中の三校では、毎年各学校の教員同士で合同研修会を行っています。小学校と中学校の教員間でも文化に違いがあります。しかし、各小学校から向陽中に入学して困るのは子どもと保護者です。互いの教員同士で指導方法やルールなどで情報共有し、中学入学後の不安を取り除いていくことを目的に研修会を行っています。

向陽中学校長
齋藤 耕一郎



このようなことを実現させていくため、三校の校長の中で課題認識や実施への意思を共有し、今年度より小中連携の推進を協働実施していくこととなります。推進していくにあたり、今年8月には、三校合同で学校運営協議会委員の方々と懇談を行い、実施計画等を説明し、ご支援をお願いするとともに、三校の協議会委員の方々が顔見知りの関係となつて一緒に活動していけることを期待しています。やはり、下高・永福地区の大人（地域・保護者・教員）が、学校行事や地域行事などに多く参加することで交流が密になり、そこから子どもを育成するために地域で一緒になって考え、連携していくことが大切です。

子どもを支える大人が少なくなっているからこそ、スケールメリットを生かすために高三小と永福小の連携を強くして、三校の「小中連携体制」から下高・永福地区の「地域連携体制」に発展していけばと願っています。そして、互いの地区の文化から交流が盛んになっていくことで向陽中学区も活性化していくことでしょう。下高・永福地区の皆様に向陽中を支援していただいているからこそ、小中連携を推進していくことで下高地区と永福地区も結束し、将来子どもたちが大人となったときに地域貢献できる人材となつて成長してくれると願っています。



三校合同協議会
懇親会

Topics!

教育委員会への意見・要望について

- ① 4階第2学習室、第1多目的室、第2多目的室への空調設置
- ② 東西昇降口と体育館入り口のスロープ設置
- ③ 1階西側トイレの多目的トイレ（バリアフリー化）工事
- ④ プール側の防球フェンスの設置

すべての設置・工事が完了いたしました。

多目的トイレ



第1回 4/24 水

- ・学校経営方針の説明およびその承認。
- ・学校側より、部活動の運営を学校から保護者・地域へ移行していく旨報告があった。(テニス・サッカー・野球・吹奏楽・卓球)
- ・小中連携をより一層推進していくため、教員の合同研修会や学校運営協議会の合同開催を実施していくと報告があった。
- ・自立的・協働的な学校づくりの推進について説明があった。
- ・大学生ボランティアを入れた地域行事の活性化を実施する予定。
- ・いじめ重大事態他報告があった。
- ・本年度の学校運営協議会の開催回数は10回とする。

第2回 5/22 水

- ・会長選任 十亀章子、会長職務代理 齋藤佳子。
- ・第77回運動会は、6月1日(土)雨天の場合4日(火)開催予定。準備や片付けのために保護者・学校支援本部のお手伝いを募集予定。
- ・校長よりフレンドシップスクールに同行した旨報告があった。

・いじめ重大事態について、CSの委員にも聞き取りが入る旨、校長より報告があった。部活動の地域移行や教職員の長時間勤務についても説明があった。

・令和6年度、学校運営協議会生徒・保護者アンケート調査の継続について、昨年度から杉並区教育委員会済美教育センターが、区立の学校に統一したアンケート実施を始めたことや、保護者の意見は、PTAで吸い上げることができないかなど協議をおこなった。協議の結果、生徒アンケートのみ実施し、生徒の授業評価については、原案を学校運営協議会で作成する。保護者の声については、PTAが組織として何らかの形で意見を吸い上げるとした。

第3回 6/20 木

「配慮を要する生徒」(不登校・特別支援・アレルギー等)の状況に関する報告が、根津教諭よりあった。生徒会で掲げるスローガン「いじめ0%5か条」と連動することや、各学年の教員もメンバーに含めた「校内委員会」も活用していく予定である。また、校内居場所づくりについても準備中である。

・生活指導について、夜間、おおぞら公園をたまり場としている生徒、児童がいる旨報告があった。パトロールを強化していく予定である。

・外国籍をもつ生徒の支援体制を、地域も含

め支え合う関係性を広げていきたいと校長より要望があった。

・近隣との兼ね合いにより、野球、サッカーの活動に対して、考慮していく必要があると説明があった。

・運営協議会生徒アンケート調査は、10月実施予定とする。

第4回 8/2 金

・令和5年度の校内配当予算決算、令和6年度校内配当予算執行状況について、事務主査より説明があった。

・6月27日～29日まで修学旅行(長崎方面)、7月9日～11日まで、2年生職場体験を予定通り実施したと報告があった。

・令和8年度修学旅行に向けて旅行業者4社のプレゼンにCS委員も同席した。

・夏季休業中に、体育館屋根工事、防球ネット工事を予定している。

・生徒アンケート調査の項目について協議をした。

保護者の意見を吸い上げるべく、7月配布のPTA広報紙にて相談窓口案内を記載したとPTA会長より報告があった。

・8月2日、三校合同学校運営協議会懇親会を開催。小中が連携し地域と共に児童・生徒を育てていく取り組みについて、三校の校長より説明があった。

4月19日(金) 6校時

職業による自己実現と社会貢献



講師・林政夫さん

2年生を対象に、学校運営協議会の委員でもある林政夫氏他2名を講師にお招きし、実際に職業に就かれている方からお話を伺いました。講話を通じて、働くことの意義を理解し、社会貢献に対する意欲・関心を深めることを学びました。どんな仕事に就くのかより、何をやろうとしているのが大事。また、自己とは、日々の経験から学ぶことであるなどのお話を聞かせていただきました。「今の君たちは、なんにでもなれる。日々作り上げていくことが大切なのだ」と、心強いお言葉をいただきました。

R6 学校運営協議会 委員紹介

令和6年度



会長



十亀 章子

向陽中学校
地域コーディネーター

委員



原田 崇史

弁護士

委員



入江 優子

東京学芸大学准教授

委員



深井 敏行

元特別支援学校 校長
明星大学教育学部 客員教授
卒業生

委員



齋藤 佳子

高三小学校支援本部長
民生委員・児童委員

委員



桜井 誠人

宇宙航空研究開発機構
「JAXA」勤務
卒業生

委員



林 政夫

塾経営

委員



寺尾 恵子

ゆうゆう永福館施設長
カフェ勉運営

委員



桐野 亜希子

元PTA会長
落語家

委員



伏見 麻衣

PTA会長

委員



荻上 健太郎

東京学芸大学
教育インキュベーションセンター准教授

委員



齋藤 耕一郎

向陽中学校長

